

第5回阪南地区薬薬連携研修会アンケート結果集計

日時：平成25年2月23日（土）15:00～17:00

場所：阪南市民病院 4階講堂

参加者：計 30 名（薬剤師会 24 名・阪南市民病院 薬剤部 5 名・その他 1 名）

【特別講演】 消化器症状と治療の実際～手術症例から学ぶ～

阪南市民病院 外科部長 辻 毅

A よくわかった	10 名
B だいたいわかった	6 名
C ふつう	1 名
D あまりよくわからなかった	
E わからなかった	

感想

- ・手術・抗癌剤などによって癌の方の生存率も良くなり、予後も良く、素晴らしいことだと思います。
- ・胃を全摘した時の縫合の仕方など、図で説明して下さい、分かりやすかった。投薬はあまり積極的に行わない理由も納得できた。
- ・親切・丁寧な御講義ありがとうございました。PET・カプセル内視鏡の使用予定はあるのでしょうか？又、どんな患者に必要なのでしょうか？
→カプセル内視鏡ですが、操作は問題ないと思いますが、読影などできる担当者がいないので、当方では無理と思います。小腸疾患のある、或は疑いのある症例になると思います。
コストが安くなればスクリーニングでき、患者さんは楽になります。（辻先生の回答です。）
- ・症例を画像を用いて説明してくれたので、わかりやすかった。
- ・あまり、カメラの画像やCTの画像を見ることがありませんので、勉強になりました。
- ・内視鏡やCTの説明が面白かったです。
- ・外科の治療、手術の方法が分かってよかった。薬の作用がよくわかった。
- ・外科について知識がなかったので、良く分かりとても理解できました。私も紀ノ川についてなつかしい思いがあったので、とても親しみがわきました。
- ・胃全摘出の方に対して、投薬上の注意点があれば教えて下さい。（薬剤部の方へ）
→まずは手術後、消化管の交通がどのようになっているかを把握します。（手術記録、造影CTなどあればデータを見ます）その後、飲水の状況や経管流動などの摂取の状態や便の形状などを見ます。服用する薬剤に関して、現状の病態の状況で影響がないかなどを考慮し、治療効果が出ているかを判断します。胃全摘出の場合は、胃から分泌される、内因子の低下により、ビタミンB12の吸収が低下しますので、巨赤芽球貧血を発症する可能性が高いので、血球に関するデータを確認します。その際に、貧血が進行するようであれば、ビタミンB12を経静脈的に投与するよう依頼します。（薬剤部 町谷が回答。）
- ・内視鏡所見を含めて、分かりやすい説明をありがとうございます。

新病院開院に向けて何か質問があれば記載して下さい。

- ・一般市民のくすりの相談コーナーの設置は考えているのでしょうか？
- 当面は、1階の相談コーナーにて受付させて頂き、薬剤師が対応させていただきます。(薬剤部 野村が回答)
- ・今後とも薬局薬剤師との連携よろしく申し上げます。御指導申し上げます。

今後企画して欲しい内容

- ・整形外科の領域
- ・在宅医療
- ・婦人科の内容
- ・排尿障害（夜間）について
- ・緩和医療（麻薬の使い方を含めて）を教えてほしい。

開催日について

木曜日 4名
土曜日 16名



アンケートの記載ありがとうございました。

現在の建物での研修会は今回で最終回になります。次回からは新しい阪南市民病院の「さつきホール」にて研修会を開催する予定です。次回の研修会は2013年6月8日を予定しています。研修会前に病院見学会を実施する予定です。引き続き御参加よろしくお願い致します。

阪南地区薬業連携推進協議会委員